



## 化学療法室ってがん患者さんだけが使うの？

がん化学療法看護認定看護師 後藤 真澄

皆さまは、化学療法という言葉を知っていますか？化学療法とは、広い意味では抗生物質で感染症を治療することも含んでいますが、最近では「がん」に対する薬剤治療をさしていることが一般的です。当院の化学療法室でも、がん患者さんの抗がん剤治療が最も多いのですが、最近では分子標的薬という薬剤を使用する方も増えてきました。

抗がん剤は、がん細胞をやっつける薬剤ですが、どうしても正常な細胞にも影響が出ます。一方、分子標的薬は、がん細胞がどのように増えるかということの研究し、がん細胞が増えないようにするために開発された薬剤で、がん細胞だけに作用します。

この研究から、分子標的薬は、がんだけでなくリウマチや潰瘍性大腸炎など、自分の細胞を攻撃する病気の治療薬としても開発が進んでいます。つまり、分子標的薬の中には、がんに対する薬剤とその他の病気に対する薬剤があるということです。ですから、がんの患者さんだけでなく、リウマチ等の患者さんにも化学療法室をご利用頂いています。

また、化学療法室にはボランティアさん作成の帽子や栄養補助食品に関する資料をご覧頂ける「患者サロン」を設けています。どなたでもご利用頂けますので、どうぞおこし下さい。

## 食事のときにむせる、痰が増えるなどの症状があれば

摂食・嚥下障害看護認定看護師 廣瀬 みゆき

「食事のときにむせる」「喉がいがらっぽい・ひっかかった感じがする」「風邪もひいていないのに夜にせきがでる」などの症状は、飲み込みの問題がある嚥下障害の可能性がります。

嚥下障害は、水とゼリーを使った簡易的なテストで評価することができます。評価結果から、適切な食事の食べ方や食事の形態を説明させていただきます。当院では、食事を食べながら評価できる嚥下内視鏡・嚥下造影の検査も実施しております。さら

に、食事の調理方法・嚥下障害に関連した食事の購入方法については、管理栄養士から説明させていただきます。

年齢を重ねるとむせやすくなり、食べたいものを我慢し、お茶や水分を控えてしまう方もいます。また、抵抗力が低下している人は、むせた食事が気管に入ると誤嚥性肺炎をおこしやすくなります。一緒にお食事されているご家族の方でも、気になることがありましたらいつでもご相談ください。